

厚生委員会報告資料

令和7年7月4日

報告事項件名	頁
1 自治体・医療機関等をつなぐ情報連携システム（PMH）の東京都の 先行実施事業及び区の状況について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 令和5年10月16日に発覚した「国民健康保険特定健康診査受診勧奨 事業委託」における個人情報流出に係る事後対応について・・・・・・・・	5
3 令和6年足立区自殺者数の現状及び令和7年度自殺対策の主な取組み 方針について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
4 「足立区糖尿病対策アクションプラン2」に基づく令和6年度事業実施 結果（概要）及び令和7年度の主な取組みについて・・・・・・・・・・	22
5 令和6年度「動物愛護相談支援窓口」の実績及び「足立区地域猫活動協力 員」の登録・更新状況等並びに令和7年度の主な取組み方針について・・・・	31

(衛 生 部)

厚生委員会報告資料

令和7年7月4日

<p>件名</p>	<p>自治体・医療機関等をつなぐ情報連携システム（PMH）の東京都の先行実施事業及び区の状況について</p>
<p>所管部課名</p>	<p>衛生部衛生管理課、福祉部福祉管理課、政策経営部ICT戦略推進担当課、情報システム課、衛生部保健予防課、足立保健所中央本町地域・保健総合支援課</p>
<p>内容</p>	<p>マイナンバーカードが一部の公費負担医療制度の受給者証等（マイナ受給者証）として利用できるようになったため、報告する（詳細は別紙1一覧表を参照）。</p> <p>1 自治体と医療機関等をつなぐ情報連携システム（PMH）について</p> <p>デジタル庁が関係省庁と連携し、医療費助成、予防接種、母子保健等領域におけるマイナンバーカードを活用したデジタル化の取組を推進するため、自治体と医療機関等をつなぐ情報連携システム（Public Medical Hub 以下、PMH）が開発された。</p> <p>東京都は国の先行実施事業に参加し、マイナンバーカードを公費負担医療費助成制度の受給者証等として利用できるようシステムを改修し、令和7年3月31日から運用を開始した。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>公費負担医療制度を利用するには健康保険証と受給者証等が必要だった。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>健康保険証と受給者証等の2点ではなく、紐付けられたマイナンバーカード1点で受診可能。</p> </div> </div> <p>※ マイナ受給者証を利用するためには、マイナンバーカードの健康保険証の利用登録（マイナ保険証）が必要となる。</p> <p>※ 受給者証等によっては、引き続き自己負担上限額管理票の提示が必要となる。</p> <p>2 対象となる東京都の受給者証等</p> <p>(1) 特定医療費（指定難病）受給者証</p>

- (2) マル都医療券（都単独疾病、人工透析を必要とする腎不全、被爆者の子）
- (3) 小児慢性特定疾病医療受給者証
- (4) 自立支援医療受給者証（精神通院）

3 マイナンバーカードをマイナ受給者証として利用するにあたっての留意点

- (1) 紙の受給者証等は引き続き東京都から交付され、提示することで受診可能である。
- (2) 受給者証等によっては、引き続き紙の自己負担上限額管理票の提示が必要である。
- (3) PMHの具体的な開始時期は、医療機関・薬局によって異なるため、受診前にご本人が各医療機関・薬局に確認する必要がある。
- (4) 6月26日現在、自立支援医療受給者証については、東京都による各受給者の資格情報とマイナンバーの紐付け作業が全て完了していないため、一部の受給者はマイナ保険証を受給者証としてまだ利用できる状態になっていない。
- (5) 東京都は項番2（1）～（3）の事業について、それぞれの対象者に令和7年度の受給者証の切替と合わせてPMHの案内を行っている。

4 区のPMH対応状況について

(1) 衛生部の対応

保健衛生システムの開発ベンダのシステムエンジニアのリソース不足により、東京都大気汚染医療費助成のPMH接続が遅れる見込みである。

また、母子保健、成人保健、予防接種及び感染症分野については、保健衛生システムのシステム標準化後、国の動向を注視し、対応していく。

(2) 福祉部の対応

福祉総合システムで受給者情報を管理する子ども医療費助成等8業務については、令和9年4月からの運用開始に向け、令和8年度中に区から国のPMHシステムへ資格情報を送信するシステムの改修を行う予定である。

5 今後の予定

区のPMH対応についての進捗は、厚生委員会に随時報告していく。また、足立区医師会、足立区歯科医師会及び足立区薬剤師会には協議会等を通じて、情報提供を行っていく。

PMHの医療費助成分野における対応予定について

別紙 1

	事業名	関係部署	システム
R7.3.31～ 運用開始	特定医療費（指定難病）受給者証	保健予防課保健予防係	東京都のシステム
	マル都医療券（都単独疾病、人工透析を必要とする腎不全、被爆者の子）	衛生管理課公害保健係 保健予防課保健予防係	
	小児慢性特定疾病医療受給者証	保健予防課保健予防係	
	自立支援医療受給者証（精神通院）	中央本町地域・保健総合支援課精神保健係	
R9.4～ 運用開始予定	子ども医療費助成 （マル乳、マル子、マル青）	親子支援課子ども医療費給付係	福祉システム
	ひとり親家庭等医療費助成 （マル親）	親子支援課ひとり親手当・医療係	福祉システム
	心身障害者医療費助成 （マル障）	障がい福祉課障がい給付係 中央本町地域・保健総合支援課精神保健係	福祉システム
	更生医療に係る自立支援医療	障がい援護課援護管理係	福祉システム
	育成医療に係る自立支援医療	中央本町地域・保健総合支援課精神保健係	福祉システム
	肢体不自由児通所医療	障がい援護課援護管理係	福祉システム
	療養介護医療	障がい援護課援護管理係	福祉システム
今後対応予定 （対応時期は未定）	大気汚染医療費助成	衛生管理課公害保健係	衛生システム

厚生委員会報告資料

令和7年7月4日

件名	令和5年10月16日に発覚した「国民健康保険特定健康診査受診勧奨事業委託」における個人情報流出に係る事後対応について
所管部課名	衛生部データヘルス推進課
内容	<p>平成29年度当時の受託事業者である株式会社NTTマーケティングアクトProCX（以下「ProCX社」という。）から、流出した個人情報に係る調査報告書（別紙2）を令和7年5月7日付で受理した。</p> <p>警察への捜査協力・社内での調査の結果、足立区の個人情報については<u>第三者への流出は確認できなかった</u>とのことであったため、以下のとおり区が被った損害に対する補償等に係る合意書を区とProCX社との間で締結し、区民への周知を行った。</p> <p>なお、本件については、ProCX社から区に対して損害金が支払われたことをもって対応を終了する。</p> <p>1 合意書の締結</p> <p>以下の内容を盛り込んだ合意書を令和7年5月30日付でProCX社と締結した。</p> <p>(1) 個人情報の流出に伴い、<u>区が行った対象者へのお詫び文郵送や区民からの問合せ等に要した費用として、損害金1,503,532円をProCX社が区に対して支払うこと。</u></p> <p>(2) <u>合意書締結後に区民から区に対して損害の賠償請求等があった場合、ProCX社が単独で対応し、その費用と責任により解決すること。</u></p> <p>ただし、区民がProCX社による対応を拒否した場合は、区とProCX社で対応方法を協議すること。</p> <p>2 区民への周知</p> <p>足立区の個人情報について、第三者への流出は確認できなかった旨を令和7年5月20日、区ホームページに掲載した。</p> <p>3 個人情報流出事故の概要</p> <p>平成29年度に、区がProCX社へ業務を委託した特定健康診査の受診勧奨事業において、ProCX社が利用するコールセンターシステムの保守会社であるNTTビジネスソリューションズ株式会社（以下「BS社」という。）の元派遣社員が足立区の個人情報（6,999人分）を不正に取得していた。</p> <p>このことについて、令和5年10月16日にProCX社から区に対して報告があり、事故が判明した。</p>

詳細については、別紙3「国民健康保険特定健康診査受診勧奨事業委託における個人情報流出について」のとおり。

4 再発防止策

- (1) 個人情報を取扱う業務委託を新規開始または変更する場合は、区の個人情報保護評価委員会において、個人情報の安全管理措置について事前に評価を受けることとする。
- (2) 事業を実施する前に、受託者と協議して個人情報の取扱いについての業務フローを整理し、個人情報の取扱状況及び再委託の有無を把握する。
- (3) 事業実施時に受託者の個人情報の取扱状況を確認するため、年1回以上、実地検査を実施し、不適切な状況があった場合は是正指導を行い、適切に管理監督する。

※ 本件については、令和7年5月19日に全区議会議員へ情報提供済み。

足立区 様

2025 年 5 月 7 日
株式会社NTTマーケティングアクトProCX

お詫びとご報告
(お客さま情報の不正持ち出しに伴うお客様情報の不正流出について)

お客さま情報の不正流出に関しまして、その後の経過をご報告させていただきます。

2024 年 1 月 24 日、個人情報保護委員会より、個人情報保護法第 148 条第 1 項に基づく勧告及び第 147 条に基づく指導を受けました。

また、2024 年 2 月 21 日、不正競争防止法違反の罪で、貴団体のお客さま情報（足立区民 6, 999 人分の個人情報）を不正に持ち出していた NTT ビジネスソリューションズ社の元派遣社員が起訴されました。2024 年 2 月 29 日には、お客さま情報の不正持ち出しを踏まえた NTT 西日本グループ（NTT マーケティングアクト ProCX 及び NTT ビジネスソリューションズ含む）の情報セキュリティ強化に向けた取組みについて、報道発表を行いました。

お客さま情報の不正持ち出し判明後、今日に至るまで、弊社内でも、持ち出されたお客さま情報の再調査および第三者への流出状況等の詳細調査を行い、不正流出状況の特定に向けた警察への捜査協力を行ってまいりました。また、NTT 西日本グループ全体で、個人情報を保有する 400 を超えるシステムの総点検を行うと共に、外部専門家も交えて、各種の調査、原因分析、再発防止策の立案・実行に取り組んでまいりました。弊社として、最大限の調査を尽くした結果、貴団体のお客さま情報につきましては、これまでご報告してまいりました通り、第三者への流出は確認できませんでした。

現時点で弊社が知りえる範囲では、これ以上の調査を行っても第三者への流出は確認できないものと考えております。

改めまして、ご報告申し上げますと共に、貴団体が長きにわたって培ってこられたお客さまとの信頼関係を損なうことで、多大なるご迷惑、ご心配をおかけしていることについて、重ねて深くお詫び申し上げます。

今後、新たな事実が判明した場合には、速やかにご報告させていただきます。また、弊社ども（NTT マーケティングアクト ProCX 及び NTT ビジネスソリューションズ）は、再発防止に向けた抜本的な取組を引き続き実施してまいりますと共に、NTT 西日本グループとして、同様の事案を再び発生させることがないよう、情報セキュリティ強化に向けた再発防止策を着実に実行していくとともに、会社経営層の強い意志の下、グループ全体で組織文化の変革に取り組むことを通じて、社会の皆さまからの信頼回復に努めてまいります。

なお、NTT ビジネスソリューションズ社の元派遣社員が不正に持ち出していた貴団体のお客さま情報につきましては、弊社及び NTT ビジネスソリューションズ社を含む NTT 西日本グループ全体において、当時の契約期間が終了した時点で破棄しており、現時点においても保有していないことを改めてご報告申し上げます。

この度は、多大なるご迷惑をおかけいたしまして、誠に申し訳ございません。

以 上

国民健康保険特定健康診査受診勧奨事業委託における個人情報流出について

1 委託業務の概要

(1) 委託期間

平成29年9月29日から平成30年3月31日まで

(2) 委託内容

区から提供した対象者データを元に、受託事業者が特定健康診査未受診者へ電話による受診勧奨を行う業務

(3) 受託事業者

ア 受託者

株式会社NTTマーケティングアクトProCX（以下「ProCX社」という。）

イ システム利用契約会社

NTTビジネスソリューションズ株式会社（以下「BS社」という。）

2 不正に持ち出された個人情報の内容

(1) 対象者（以下のすべてに該当する方）

ア 平成29年度末の年齢が、43歳以上60歳未満で、足立区国民健康保険に加入していた方

イ 特定健康診査を過去3年間未受診だった方

(2) 対象人数

足立区民6,999人

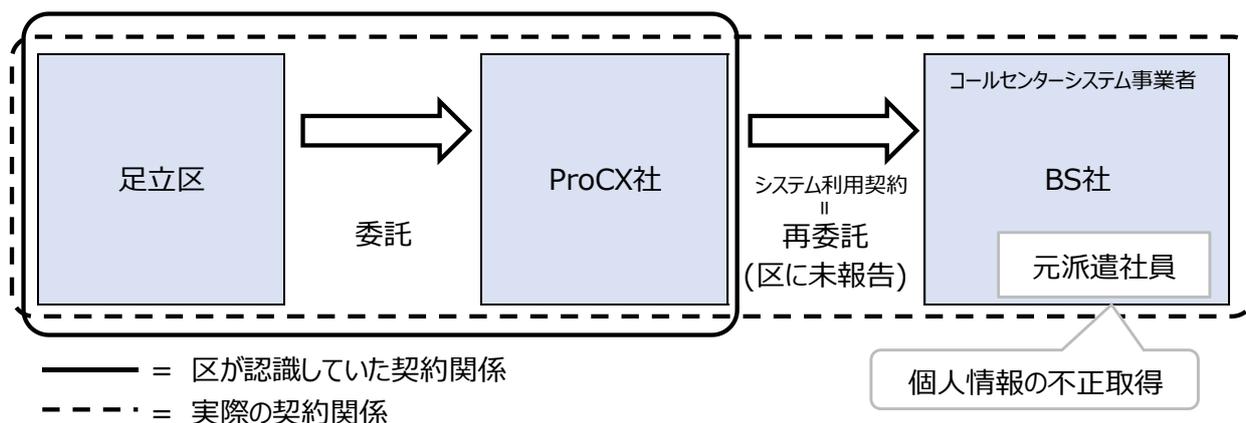
(3) 持ち出された個人情報項目

被保険者氏名（漢字、カナ）、電話番号、性別、生年月日、年度末年齢、郵便番号、住所、方書

3 流出の原因

ProCX社が利用するコールセンターシステムを保有するBS社の元派遣職員による情報の不正持ち出し

【平成29年度 国民健康保険特定健康診査受診勧奨事業委託 関連図】



2 これまでの経緯

時期	内容
平成 29 年 9 月 29 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日	<p>【業務委託】 競争入札により、ProCX 社と契約締結。 電話による区民への健診受診再勧奨業務を委託。 業務のため、区から ProCX 社に区民の個人情報（6,999 人分）を提供。 ProCX 社が業務実施後、平成 30 年 3 月 31 日で契約期間終了。</p>
令和 5 年 10 月 16 日	<p>【事故判明】 ProCX 社から、区民の個人情報が第三者に流出した可能性があるとの連絡があり、事故が判明。</p>
10 月 17 日	<p>【事故報告】 国の機関である個人情報保護委員会へ報告（速報）</p>
	<p>【記者会見（委託先）】 ProCX 社と BS 社が記者会見を行い報道発表。</p>
10 月 23 日	<p>【お詫び文発送】 送付先が確認できた一部の対象者（※）にお詫び文を発送。 ※事業者から提供されたデータ（事業者が警察から捜査協力により取得したものと令和 5 年 10 月 18 日時点で足立区が保有する住民記録情報の「カナ氏名、生年月日、性別、住所・方書」が一致した方（5,308 人）</p>
	<p>【公表】 区公式ホームページに掲載。報道機関情報提供。</p>
11 月 8 日	<p>【公表】 あだち広報（11/10 号）に掲載。配布開始。</p>
11 月 9 日	<p>【事故報告】 国の機関である個人情報保護委員会へ報告（確報）</p>
11 月 22 日	<p>【記者会見（区）】 定例記者会見の冒頭で説明。</p>
令和 6 年 1 月 31 日	<p>【逮捕】 個人情報を流出させた BS 社の元派遣社員が逮捕されたとの報道発表。</p>
5 月 23 日	<p>【公判】 求刑・懲役 3 年、罰金 100 万円 元派遣社員が初公判で起訴内容を認め、即日結審。</p>
7 月 11 日	<p>【判決】 求刑どおり有罪判決（執行猶予 4 年）</p>
令和 7 年 5 月 7 日	<p>【調査結果報告】 ProCX 社が区に対して、警察への捜査協力・社内調査の結果、不正に持ち出された区民の情報について、第三者への流出は確認できなかった旨を報告</p>
5 月 20 日	<p>【公表】 第三者への流出は確認できなかった旨を区公式ホームページに掲載</p>
5 月 30 日	<p>【合意書締結】 区が被った損害に対する補償等に係る合意書を区と ProCX 社の間で締結</p>

厚生委員会報告資料

令和7年7月4日

件名	令和6年足立区自殺者数の現状及び令和7年度自殺対策の主な取組み方針について																
所管部課名	衛生部こころとからだの健康づくり課																
内容	<p>令和6年足立区自殺者数の現状及び令和7年度自殺対策（こころといのちの相談支援事業）の主な取組み方針について報告する。</p> <p>1 令和6年足立区自殺者数の現状</p> <p>(1) 自殺者数（人口動態統計※1・R6年は暫定値） 【P16 別紙4 図1、2参照】</p> <table border="1" data-bbox="454 842 1254 1048"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年</th> <th>令和6年</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総数</td> <td>117人</td> <td>119人</td> <td>2人増加</td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>82人</td> <td>82人</td> <td>増減なし</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>35人</td> <td>37人</td> <td>2人増加</td> </tr> </tbody> </table> <p>自殺者が急増した平成10年からの区の減少率は38.3%減。 (参考) 都：19.9%減、国：33.8%減。なお、都と国はまだ令和6年の数値が公表されていないため、平成10年と令和5年の比較。</p> <p>※1 人口動態統計 厚生労働省が作成。戸籍法により届け出られた自殺による死亡者数。</p> <p>(2) 年齢別自殺者数（人口動態統計・R6年は暫定値） 【P16 別紙4 図3参照】 男性：50代が最も多く、令和5年と比較し増加した。 女性：令和5年と比較し、特に10代、60代で増加した。</p> <p>(3) 原因・動機別自殺者数（地域における自殺の基礎資料※2） 【P17 別紙4 図4参照】 男性：「健康問題」「不詳」「経済・生活問題」の順に多い。 女性：「健康問題」「不詳」「家庭問題」の順に多い。</p>		令和5年	令和6年	増減	総数	117人	119人	2人増加	男性	82人	82人	増減なし	女性	35人	37人	2人増加
	令和5年	令和6年	増減														
総数	117人	119人	2人増加														
男性	82人	82人	増減なし														
女性	35人	37人	2人増加														

※2 地域における自殺の基礎資料

各都道府県警察において、遺体の死因を自殺と判断した場合に案件ごとに作成した自殺統計原票の情報をデータ化し、警察庁において取りまとめたものを、厚生労働省が「地域における自殺の基礎資料」として作成し公表。

(4) 職業別自殺者数（地域における自殺の基礎資料）

【P17 別紙4 図5参照】

男性：「有職者」「年金・雇用保険等生活者」「その他の無職者」の順に多い。

女性：「有職者」「年金・雇用保険等生活者」の順に多く、次いで「学生・生徒等」と「主婦」が同数であった。

2 令和6年度の主な取組み結果

(1) 人材育成

ゲートキーパー研修

自殺のサインに気づき、適切な相談機関へつなげるゲートキーパー（いのちの門番）を育成する。

ア 初級研修 「気づく」

自殺のサインに気づき、基本的な知識を学ぶ研修。

受講者数：234人 <前年度 412人>

※ 令和5年度は、初級研修の対象範囲を、一般区民・区窓口業務委託職員にまで拡大したことで、受講者数が一時的に増加したが、令和6年度はその分の落ち込みがあった。

初級研修延べ受講者数：約13,200人

※ 平成20年度から令和6年度まで（17年間）の受講者数

イ 中級研修 「つながる」

サインに気づいたら、話をよく聞きつないでいくための傾聴研修。

受講者数：155人 <前年度 137人>

ウ 上級研修 「いのちを守る」

複数の問題を抱え困っている方を、的確な窓口につなぐため、様々な分野の知識や支援を学ぶ研修。

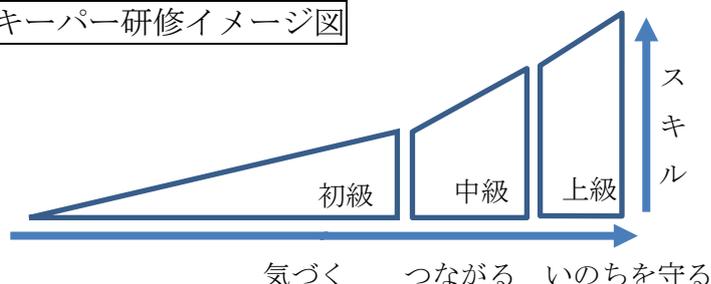
受講者数：68人 <前年度 67人>

エ 教員向け研修

児童・生徒がSOSを出しやすい環境を整えるために、教育委員会と連携して実施。

受講者数：126人 <前年度230人>

ゲートキーパー研修イメージ図



(2) 当事者に対する支援

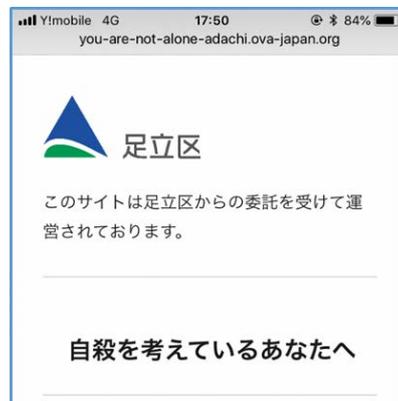
インターネット・ゲートキーパー事業

区内において自殺関連語句（設定約700語）をネット検索した者に対し、検索連動広告を表示しメール相談へつなぐ。

<広告表示画面>



<広告クリック後の画面>



広告表示回数：114,392回

<前年度 85,554回>

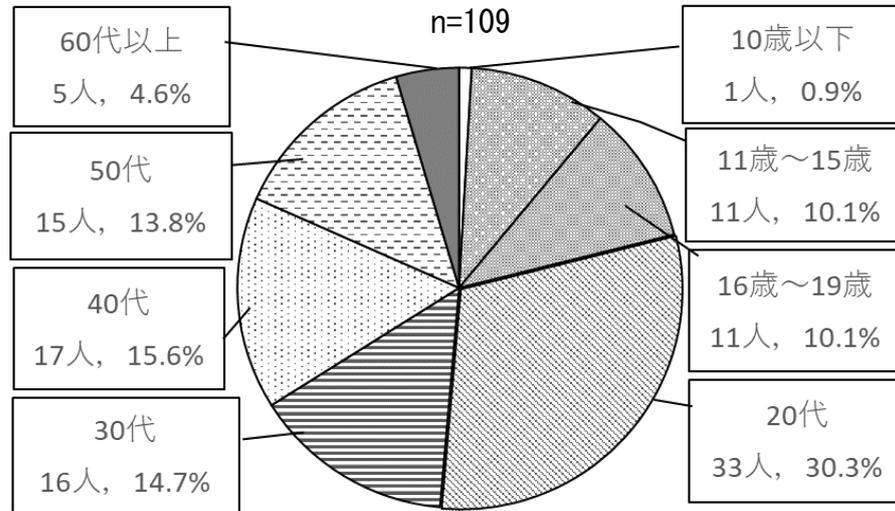
広告クリック数：10,529回

<前年度 6,625回>

新規相談者数：109人

<前年度 110人>

令和6年度 インターネット・ゲートキーパー新規相談者
年齢別内訳



(3) 啓発・周知

児童・生徒向け特別授業

「SOSの出し方等教育～自分を大切にしよう～」

自分がかげがえのない大切な存在であることに気づくとともに、不安や悩みへの対処方法を理解し、現在起きている危機的状況、または今後起こり得る危機的状況に対応するためのSOS（援助希求行動）の出し方について学習する。

SOSの出し方等教育 実施状況

年度	小学校		中学校		小・中学校計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数
R4	29校	2,564人	11校	2,444人	40校	5,008人
R5	65校	6,227人	35校	8,140人	100校	14,367人
R6	67校	10,621人	35校	13,472人	102校	24,093人

※ これまで全区立小学校5年生から中学校3年生のうち、小学校で1回、中学校で1回実施としていたものを、令和6年度より、それぞれの学年で年1回実施としている。

(4) 関係機関等とのネットワークの強化

ア ころといのちの相談支援ネットワーク会議の開催

登録機関数：37機関 <前年度37機関>

主な登録機関：三師会、医療機関、支援団体、弁護士会、官公署等

イ つなぐシート【P18 別紙5参照】

窓口等で複数の悩みのある方に気づいた場合、次の窓口へ確実に紹介するための「紹介状」。相談内容を記録したシートを、本人の同意を得た上で関連所管・機関と共有することで、支援の引継ぎを正確かつ効果的に行い、相談者の説明の負担を軽減させる。

つないだ件数：1, 283件 <前年度890件>

3 令和7年度の主な取組み方針

区の自殺者数において、20歳未満における増加傾向が見られ始めた。また、依然として区の中高年男性の自殺死亡率が高い状況にある。

令和7年度は、重点対象を以下に定め、引き続き関係部署・機関等と連携し、支援事業を実施していく。

(1) 児童・生徒

ア 児童・生徒に配付しているタブレット端末の活用 **新規**

(ア) SOSフィルター

タブレット端末にインストールする無償の機能。

児童・生徒が「死にたい」等の自殺関連用語など深刻な悩みに関する語句（約5,000個設定されている）を検索した際、悩みに合った相談窓口やセルフケアの方法をまとめたポップアップを表示。

※ 令和7年3月14日から運用を開始。

(イ) SOSフィルターの他にも、タブレット端末を活用した有効な機能の導入について検討していく。

イ 自殺リスクが高い児童・生徒への対応（ベッド確保事業） **新規**

令和7年4月1日より、児童・生徒の自殺未遂や自傷行為等への対応として、区が精神科医療機関に空床（ベッド）を確保し、精神科専門医が入院が必要と判断した場合にいつでも入院できる事業を開始した。その円滑な運用を図っていく。

ウ 「SOSの出し方等教育」の実施

令和6年度に引続き、小学校5年生から中学校3年生を対象に、それぞれの学年で年1回実施できるよう、教育委員会と連携していく。

また、区内高等学校については、コロナ禍を経て実施校数が減ってしまっているが、直接学校長や養護教諭等に働き掛け、実施校数を増やしていく。

エ 職層に応じた（初任者・中堅教諭・副校長）教員向けゲートキーパー研修の実施

(2) 中高年者

ア ゲートキーパー研修における一般区民の参加者数の増加

イ 出張ゲートキーパー研修の実施

例) 青色申告会など

ウ フードパントリー等へ出張相談

エ 相談窓口一覧カードの配布先の拡大

例) 青色申告会の会員宛ての定期便の利用など

(3) 区医師会等と連携した医療機関向け自殺未遂者支援研修の実施

医療機関と連携し、自殺未遂で搬送されるなどして入院した患者について、必要に応じて精神科医療を適切に受けられる体制づくりのための研修を実施する。

【 足立区自殺者の現状 】

図 1 足立区自殺者数の推移【H10-R6】（人口動態統計・R6年は暫定値）

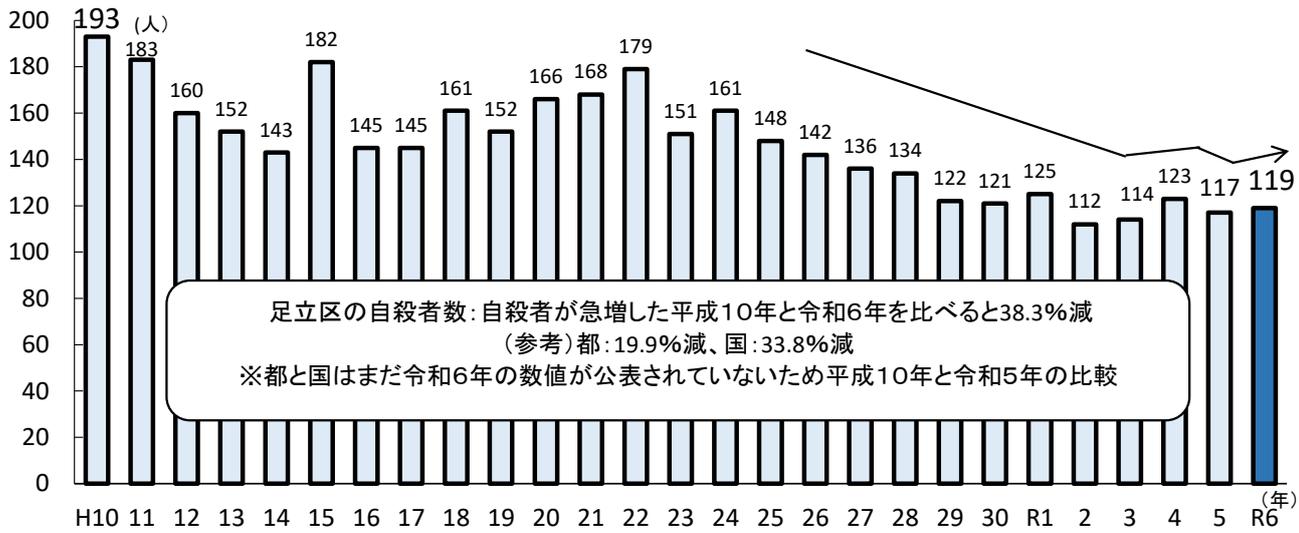


図 2 足立区男女別自殺者の推移【H29-R6】（人口動態統計・R6年は暫定値）

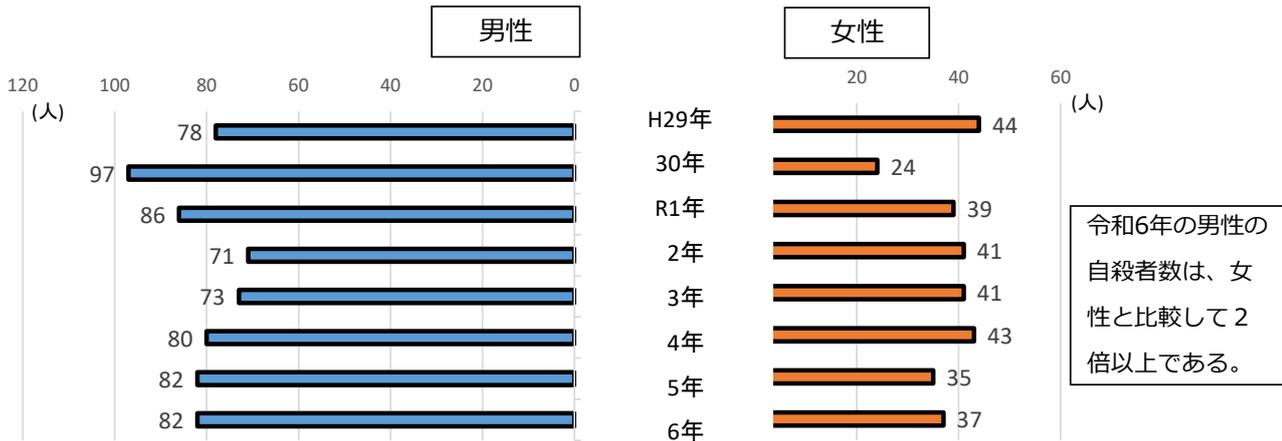


図 3 足立区男女別・年齢別自殺者の推移【R4-R6】（人口動態統計・R6年は暫定値）

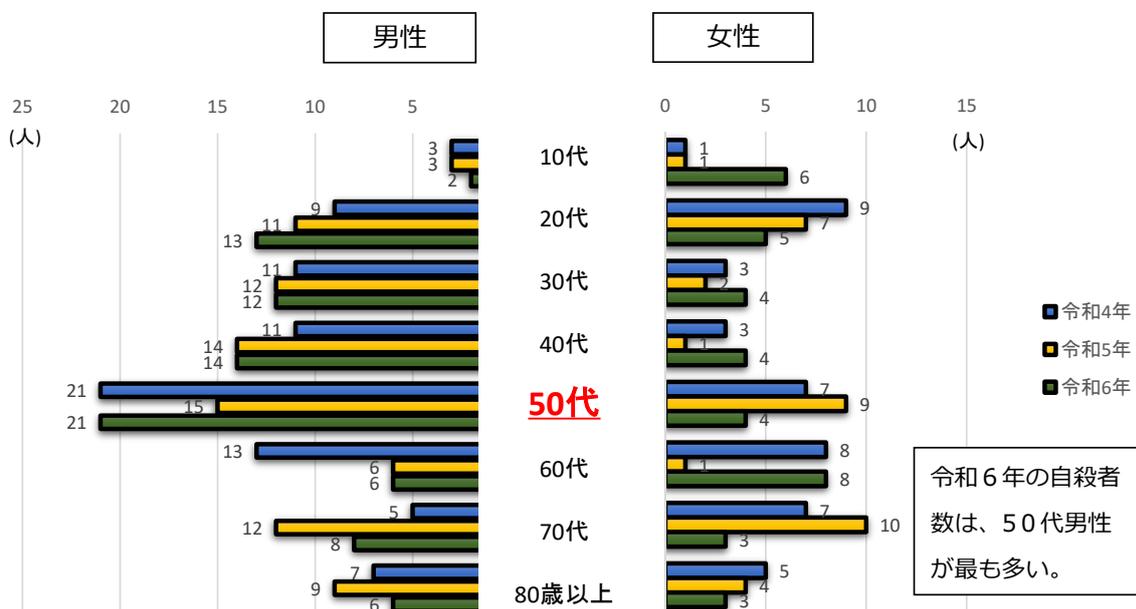


図4 足立区原因・動機別自殺者数の男女比較【R4-R6】（地域における自殺の基礎資料）

家族の証言等から自殺の原因・動機と考えられるものについて、自殺者1人につき4つまで計上可能。

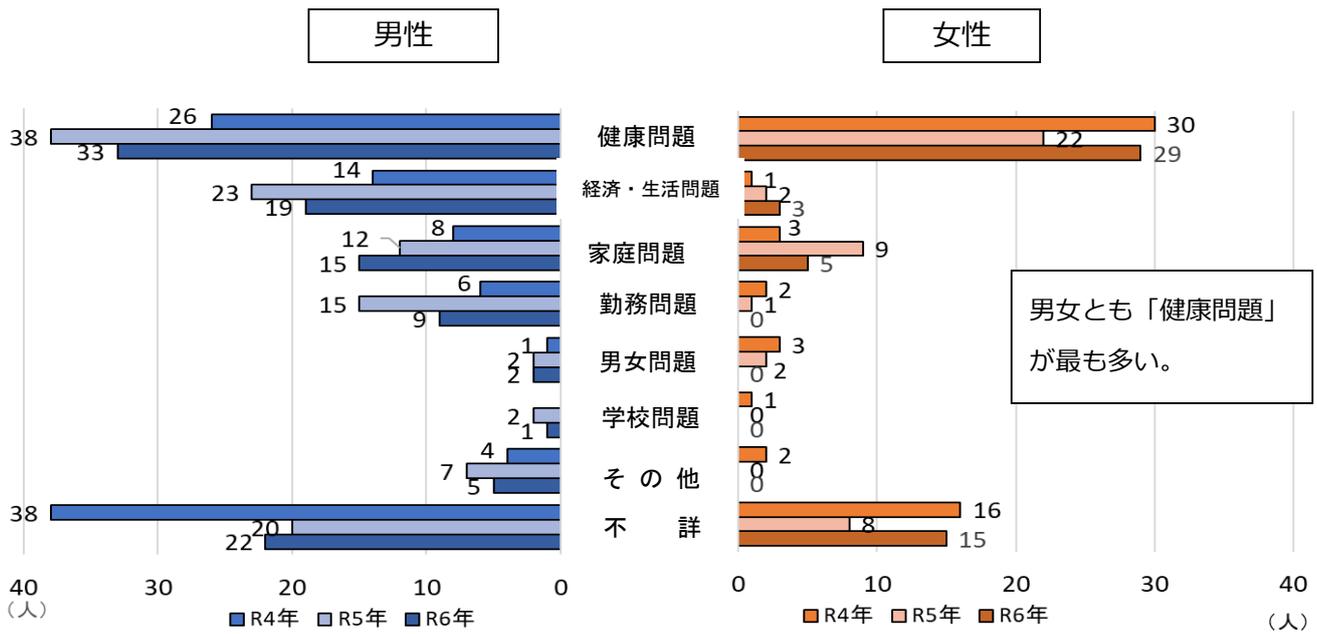
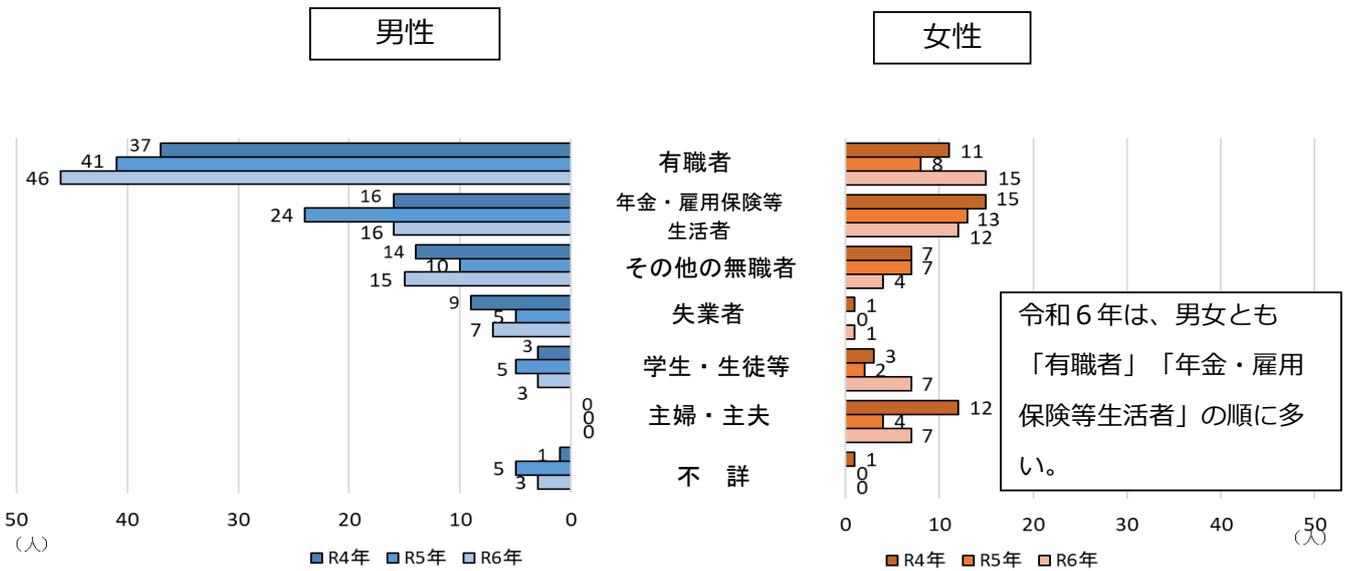
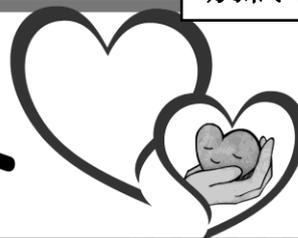


図5 足立区職業別自殺者数の男女比較【R4-R6】（地域における自殺の基礎資料）



～あなたの悩みを安心へ～

「つなぐ」シート



相談申込・受付票

ID		※初回 相談受付日	令和 年 月 日	受付者	
----	--	--------------	----------	-----	--

■基本情報 ※太枠欄は必ずご記入ください。

相談支援の検討・実施等にあたり、私の相談内容を必要となる関係機関(者)と情報共有し、保管・集約することに同意します。

署名欄					
ふりがな		性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> その他		
氏名		生年月日	<input type="checkbox"/> 大正 <input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 年 月 日 (歳)		
住所	〒 -				
電話	自宅		携帯		
来談者 注)ご本人 以外の場合 に記入してく ださい。	氏名		ご本人と の関係	<input type="checkbox"/> 家族(本人との続柄:) <input type="checkbox"/> その他()	
	住所				
	電話 (自宅)		電話 (携帯)		

■ご相談の内容(お困りのこと)

※ご相談されたい内容に○をおつけください。ご相談されたいことが複数の場合は、全て○をし、一番お困りのことには◎をおつけください。

仕事探し、就職について	収入・生活費のこと	仕事上の不安やトラブル
家賃やローンの支払いのこと	税金や公共料金等の支払いについて	債務について
資金の貸付について	住まいについて	病気や健康に関すること
こころの問題に関すること	食べるものがない	家計全般に関すること
介護に関すること	子育てに関すること	ひきこもり・不登校
家族関係・人間関係	地域との関係について	DV・虐待について
その他()		

※ご相談されたいことを具体的に書いてください。ご支援にあたっての希望もあればお書きください。

--

(初回相談受付部署)

相談内容・概要	相談受付日 月 日 () 部署名	担当者
	※初回部署は記入不要	
	相談済の部署 <input type="checkbox"/> 仕事 () <input type="checkbox"/> 多重債務 () <input type="checkbox"/> 健康・生活 ()	
	<input type="checkbox"/> 介護 () <input type="checkbox"/> 子育て () <input type="checkbox"/> その他 ()	
<今回の対応>		
当課の継続相談 有・無		



※他の部署への相談が必要な場合のみ次頁へ

相談が必要と 思われる部署	<input type="checkbox"/> 仕事 ()	<input type="checkbox"/> 多重債務 ()	<input type="checkbox"/> 健康・生活 ()
	<input type="checkbox"/> 介護 ()	<input type="checkbox"/> 子育て ()	<input type="checkbox"/> その他 ()



紹介先①	予約日時		同行 有・無
	課	係 担当者	館 階
	名称	担当者	
	住所	電話番号	

相談内容概要	相談受付日 月 日 () 部署名	担当者
	相談済の部署	<input type="checkbox"/> 仕事 () <input type="checkbox"/> 多重債務 () <input type="checkbox"/> 生活 ()
		<input type="checkbox"/> 介護 () <input type="checkbox"/> 子育て () <input type="checkbox"/> その他 ()
	<今回の対応>	
	当課の継続相談 有・無	

(福祉まるごと相談課回付日 年 月 日)



相談が必要と 思われる部署	<input type="checkbox"/> 仕事 ()	<input type="checkbox"/> 多重債務 ()	<input type="checkbox"/> 健康・生活 ()
	<input type="checkbox"/> 介護 ()	<input type="checkbox"/> 子育て ()	<input type="checkbox"/> その他 ()



紹介先②	予約日時		同行 有・無
	課	係 担当者	館 階
	名称	担当者	
	住所	電話番号	

相談内容概要	相談受付日 月 日 () 部署名	担当者
	相談済の部署	<input type="checkbox"/> 仕事 () <input type="checkbox"/> 多重債務 () <input type="checkbox"/> 生活 ()
		<input type="checkbox"/> 介護 () <input type="checkbox"/> 子育て () <input type="checkbox"/> その他 ()
	<今回の対応>	
	当課の継続相談 有・無	

(福祉まるごと相談課回付日 年 月 日)

相談が必要と 思われる部署	<input type="checkbox"/> 仕事 ()	<input type="checkbox"/> 多重債務 ()	<input type="checkbox"/> 健康・生活 ()
	<input type="checkbox"/> 介護 ()	<input type="checkbox"/> 子育て ()	<input type="checkbox"/> その他 ()



紹介先 ③	予約日時		同行 有・無
	課	係 担当者	館 階
	名称	担当者	
	住所	電話番号	

相談内容概要	相談受付日 月 日 () 部署名	担当者
	相談済の部署	<input type="checkbox"/> 仕事 () <input type="checkbox"/> 多重債務 () <input type="checkbox"/> 生活 ()
		<input type="checkbox"/> 介護 () <input type="checkbox"/> 子育て () <input type="checkbox"/> その他 ()
	<今回の対応>	
	当課の継続相談 有・無	

(福祉まるごと相談課回付日 年 月 日)



相談が必要と 思われる部署	<input type="checkbox"/> 仕事 ()	<input type="checkbox"/> 多重債務 ()	<input type="checkbox"/> 健康・生活 ()
	<input type="checkbox"/> 介護 ()	<input type="checkbox"/> 子育て ()	<input type="checkbox"/> その他 ()



紹介先 ④	予約日時		同行 有・無
	課	係 担当者	館 階
	名称	担当者	
	住所	電話番号	

相談内容概要	相談受付日 月 日 () 部署名	担当者
	相談済の部署	<input type="checkbox"/> 仕事 () <input type="checkbox"/> 多重債務 () <input type="checkbox"/> 健康・生活 ()
		<input type="checkbox"/> 介護 () <input type="checkbox"/> 子育て () <input type="checkbox"/> その他 ()
	<今回の対応>	
	当課の継続相談 有・無	

(福祉まるごと相談課回付日 年 月 日)

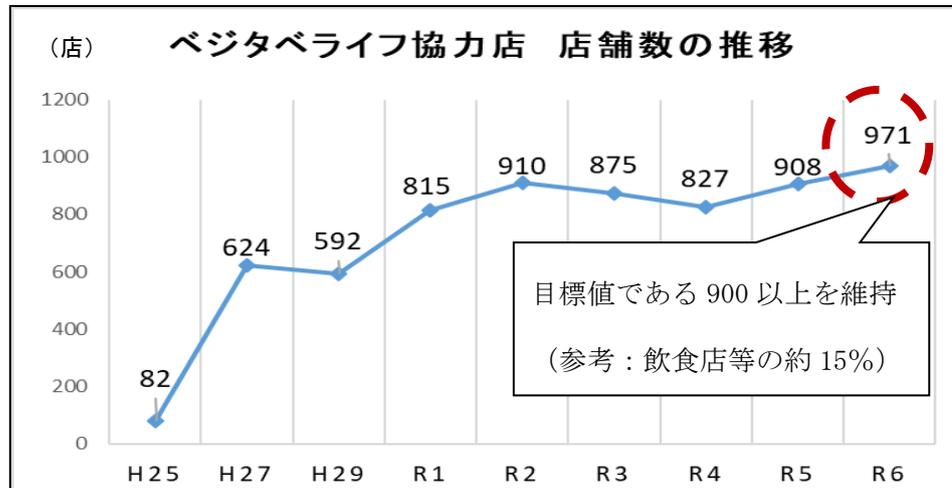
厚生委員会報告資料

令和7年7月4日

件名	「足立区糖尿病対策アクションプラン2」に基づく令和6年度事業実施結果（概要）及び令和7年度の主な取り組みについて																																																																								
所管部課名	衛生部こころとからだの健康づくり課 データヘルス推進課																																																																								
内容	<p>「足立区糖尿病対策アクションプラン2」の基本方針に基づき、令和6年度に行った主な事業の実施結果（概要）及び令和7年度の主な取り組み等について報告する。</p> <p>1 令和6年度事業実施結果（概要）</p> <p>(1) 野菜を食べやすい環境づくり</p> <p>ア 区民の推定野菜摂取量</p> <p>区が11月に実施した「簡易型自記式食事歴法質問票（BDHQ）による食習慣調査」によると、<u>推定野菜摂取量は213g</u>で平成26年度から横ばいが続いている（国の推奨は350g）。男性は依然として国との差があるが、女性は全国とほぼ同程度となっている（令和4年度は国を上回った）。</p> <p>※ 調査対象者は20歳以上60歳未満の男女1,000人（性別・年代別無作為抽出）。回答者は411人。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="564 1294 676 1335" style="text-align: center;"> <p>【男性】</p> <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <caption>推定平均野菜摂取量の年次推移（男性）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>国 (g)</th> <th>足立区 (g)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>275</td><td>203</td></tr> <tr><td>H27</td><td>276</td><td>206</td></tr> <tr><td>H28</td><td>260</td><td>212</td></tr> <tr><td>H29</td><td>274</td><td>231</td></tr> <tr><td>H30</td><td>270</td><td>227</td></tr> <tr><td>R1</td><td>259</td><td>200</td></tr> <tr><td>R2</td><td></td><td>203</td></tr> <tr><td>R3</td><td></td><td>202</td></tr> <tr><td>R4</td><td>250</td><td>229</td></tr> <tr><td>R5</td><td>246</td><td>213</td></tr> <tr><td>R6</td><td></td><td>202</td></tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1114 1294 1225 1335" style="text-align: center;"> <p>【女性】</p> <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <caption>推定平均野菜摂取量の年次推移（女性）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>国 (g)</th> <th>足立区 (g)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>262</td><td>231</td></tr> <tr><td>H27</td><td>258</td><td>253</td></tr> <tr><td>H28</td><td>245</td><td>226</td></tr> <tr><td>H29</td><td>250</td><td>231</td></tr> <tr><td>H30</td><td>249</td><td>237</td></tr> <tr><td>R1</td><td>240</td><td>237</td></tr> <tr><td>R2</td><td>246</td><td>246</td></tr> <tr><td>R3</td><td>231</td><td>231</td></tr> <tr><td>R4</td><td>237</td><td>237</td></tr> <tr><td>R5</td><td>228</td><td>227</td></tr> <tr><td>R6</td><td>220</td><td>223</td></tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>※ 国：国民健康・栄養調査より（令和2・3年度は未実施）</p> <p>イ 野菜摂取量の見える化による健康行動を促す取り組み</p> <p>ベジチェック（推定野菜摂取量を測定できる機器）を活用し、区イベントや働き世代が集まるショッピングモール等での啓発を実施した。【アンケート回答者数 R5:7,976人→R6:6,847人】</p>	年度	国 (g)	足立区 (g)	H26	275	203	H27	276	206	H28	260	212	H29	274	231	H30	270	227	R1	259	200	R2		203	R3		202	R4	250	229	R5	246	213	R6		202	年度	国 (g)	足立区 (g)	H26	262	231	H27	258	253	H28	245	226	H29	250	231	H30	249	237	R1	240	237	R2	246	246	R3	231	231	R4	237	237	R5	228	227	R6	220	223
年度	国 (g)	足立区 (g)																																																																							
H26	275	203																																																																							
H27	276	206																																																																							
H28	260	212																																																																							
H29	274	231																																																																							
H30	270	227																																																																							
R1	259	200																																																																							
R2		203																																																																							
R3		202																																																																							
R4	250	229																																																																							
R5	246	213																																																																							
R6		202																																																																							
年度	国 (g)	足立区 (g)																																																																							
H26	262	231																																																																							
H27	258	253																																																																							
H28	245	226																																																																							
H29	250	231																																																																							
H30	249	237																																																																							
R1	240	237																																																																							
R2	246	246																																																																							
R3	231	231																																																																							
R4	237	237																																																																							
R5	228	227																																																																							
R6	220	223																																																																							

ウ あだちベジタベライフ協カ店

ベジ・ファーストメニューや野菜たっぷりメニュー等を提供する
店舗数…971店舗（令和7年3月末時点）



エ 「カラダにも、お財布にも、やさしい料理教室」の開催

個別の事情に合った啓発として、就労支援を行っている「ジョブサポートあだち」にて3回制の出張料理教室を開催した。

(2) 子ども・家庭の望ましい生活習慣の定着

ア 幼稚園・保育園、小学校等における取り組み

給食時の取り組みに加え、子ども・家庭への啓発として、家庭で取り組める「おうちでもひと口目は野菜からチャレンジシート」を幼稚園・保育園、小学校、図書館等で実施した。

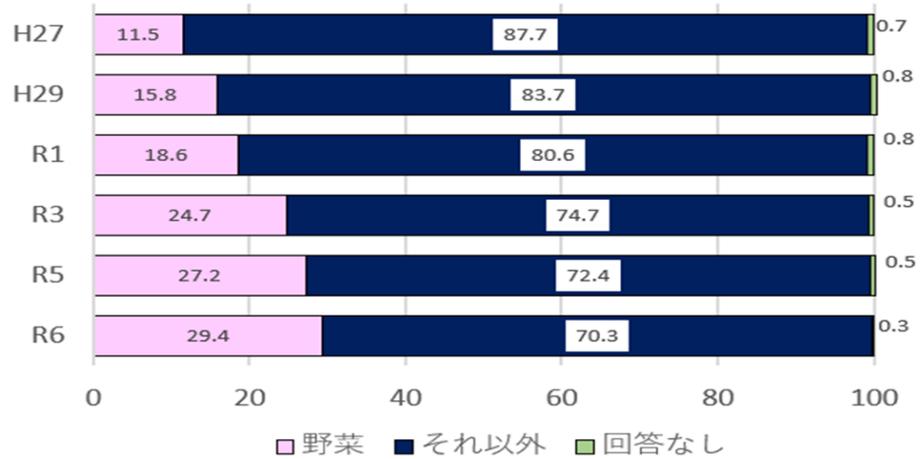
【R5:302箇所→R6:300箇所】

※ 小学校1年生を対象に行った「子どもの健康・生活実態調査」では、「野菜から食べる」と回答した割合は、平成27年度から17.9ポイント増加している。



チャレンジシート

野菜から食べる子どもの割合の年次推移(小学校1年生) (%)



子どもの健康・生活実態調査結果

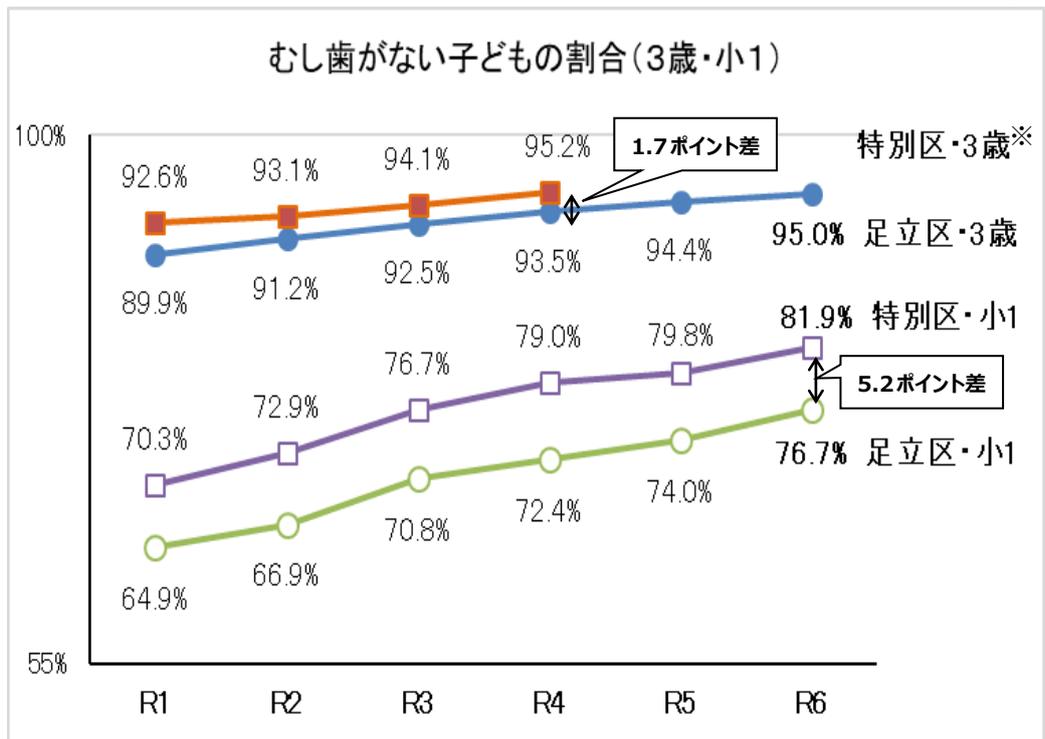
イ 幼稚園や学童保育室等における取り組み

野菜クイズ動画を活用した啓発や、幼稚園や学童保育室等で出張栄養教室を実施した。【出張栄養教室 R5:74回→R6:71回】

ウ 子どもの歯・口腔の健康の取り組み

(ア) むし歯がない子どもの割合の増加(3歳児・小学1年生)

むし歯がない3歳児の割合は年々増加し、特別区平均に近づいている(令和4年度時点)。小学1年生も同様に、特別区との差は前年度より0.6ポイント縮小し、5.2ポイント差となっている。



※特別区 R5.R6 都未公表

3歳児歯科健診結果、東京都学校保健統計書より

(イ) あだちっ子・いい歯推進園表彰「10周年記念事業」の実施

歯みがきや仕上げみがき、歯によいおやつの習慣づくり等に積極的に取り組む保育施設や幼稚園を表彰している。令和6年度は、10周年記念事業として周知を行い、応募園数は101園に増加した。また、記念リーフレットおよび園児向けシールをすべての教育・保育施設の4歳（年少児）～6歳（年長児）に配付し、意識の高揚を図った。



〈令和6年度特別賞〉

- 区長賞 1園
- 教育長賞 1園
- 足立区歯科医師会長賞 1園
- 教育長特別賞 1園



園児向けシール
(たべたら歯みがき習慣の啓発)



記念リーフレット

(3) 働き世代の健康づくり

ア 元気な職場づくり応援事業（健康経営）

区が選定した従業員の健康づくりに主体的に取り組む意欲のある区内中小事業所に対し、健康課題の改善に向けて、区保健師や管理栄養士等が身体面及び精神面の支援を行った。

【令和6年度末新規認定事業所数：3事業所（累計16事業所）】

イ 身体活動量を増やす「ちょこ活～ちょこっと動こう、プラス5分」の啓発

11月の糖尿病月間を皮切りに、日常生活活動を「あと5分」増やす「ちょこ活」の啓発を開始した。プレゼント応募の際に区民から「ちょこ活」の取り組みを記入してもらったところ約600事例が集まり、それらも紹介しながら区ホームページやSNSで発信した。



(4) 糖尿病の重症化予防

ア 40歳前の健康づくり健診

ヘモグロビンA1c値^{*}5.6%以上の方全員に対して、栄養指導・保健指導を実施。さらに2か月後に、受診状況や生活改善状況を確認するフォローを電話等で実施。

※ 概ね過去2か月の血糖値を反映。正常値は5.5%以下、6.5%以上は受診勧奨値、7.0%以上で合併症のリスクが高まる。

40歳前の健康づくり健診 糖尿病予防に関する事後指導の実施数

年度	ヘモグロビンA1c検査受診者(人) a	ヘモグロビンA1c値5.6%以上の人数 b (b/a%)	要指導者数(人)		2か月後フォロー数(人)	
			栄養指導(5.6~6.4%対象)実施数 c (c/a%)	保健指導(6.5%以上対象)実施数 d (d/a%)	栄養指導実施数 e (e/c%)	保健指導実施数 f (f/d%)
			R5	1,604	401 (25.0%)	390 (24.3%)
R6	1,729	448 (25.9%)	433 (25.0%)	15 (0.9%)	425 (98.2%)	13 (86.7%)

令和7年4月末日時点

イ 医師会・歯科医師会・薬剤師会の連携による糖尿病合併症予防の仕組みづくり

重症化予防部会（三師会代表者と衛生部等で構成）を計3回開催し、区の糖尿病の現状や課題の共有と、平成28年に開始した医科歯科連携チケット事業^{*}の見直し等について検討した。

※ 糖尿病と歯周病は互いに悪影響を及ぼすため、64歳以下でヘモグロビンA1c値が6.5%以上の区民に対し、協力歯科医院での歯科健診が1回無料となるチケットを内科等で発行する。

(ア) 仕組みを再構築した医科歯科連携チケット事業の運用開始

対象者を広げ運用を簡便化し糖尿病月間である11月からスタートした。【利用実績 H28~R5年度：累計19件→R6:15件】

(イ) 医科歯科連携講演会及び区事業説明会の開催

8月1日に開催された医師会主催の医科歯科連携講演会にて、新しい医科歯科連携チケット事業の内容を説明し、協力医療機関の登録更新も行った。

【令和7年4月末、協力医療機関数：261 機関（内科 33、眼科 22、歯科 194、薬局 12）】

(ウ) 糖尿病重症化予防啓発リーフレットの作成と配布

医療機関、薬局、区イベント等で利用し、合併症予防のために他科受診を勧奨する際の補助的な説明資料となるリーフレットを作成し、協力医療機関へ配布した。

ウ 薬剤師会による糖尿病重症化予防フォロー事業の実施

区内 13 薬局（令和6年8月以降は 12 薬局）で実施。令和6年度は 74（令和5年度：97）人の区民が測定した。ヘモグロビンA1c 値が受診勧奨対象である 6.5%以上の人はいなかった。受診勧奨が不要である段階の方が、予防の意識から当事業の活用に繋がっていると考えられる。

エ 乳幼児健診等での保護者のヘモグロビンA1c 値測定

妊娠届出時の面接や妊娠中及び産後の経過から糖尿病のリスクが推測される 831 人の保護者に対し、子どもの乳幼児健診等で保護者のヘモグロビンA1c 値測定と個別指導を実施。

乳幼児健診等での保護者のヘモグロビンA1c 値測定結果

年度	測定者数	うち、糖尿病の予備群	
		5.6～6.4%	6.5%以上
R5	887 人	201 人 (22.7%)	4 人 (0.5%)
R6	831 人	179 人 (21.5%)	6 人 (0.7%)

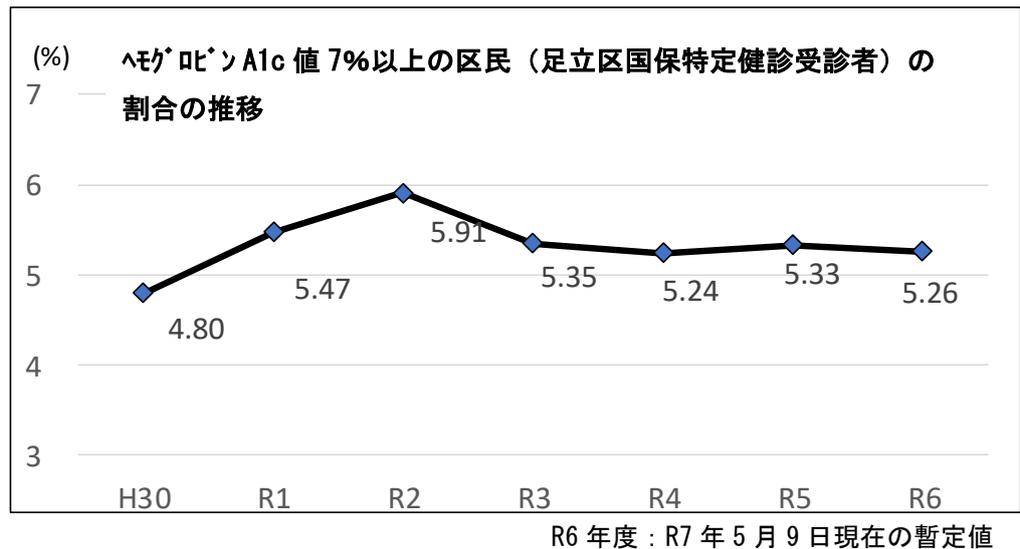
オ 糖尿病・成人眼科健診

受診率は前年度より 0.5 ポイント増加。

年度	対象者数	受診者数	受診率
R5	20,250 人	3,133 人	15.5%
R6	21,939 人	3,500 人	16.0%

力 ヘブグロヒンA1c 値 7%以上の区民（足立区国保 40～74 歳の特定健診受診者のうちヘブグロヒンA1c 値 7%以上の者）の割合

ヘブグロヒン A1c 値 7%以上の区民の割合は前年度と比較して、ほぼ横這いに抑えられている。なかでも男性は 70 歳代を除く全ての年代で前年度より割合が減少した。



2 令和 7 年度の主な取り組み

引き続き健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目標に掲げ、健康あだち 2 1（第三次）行動計画及び足立区糖尿病対策アクションプラン 2 を推進することにより、「住んでいるだけで自ずと健康になれる」環境づくりに取り組む。

【4つの基本方針ごとの主な取り組み】

(1) 野菜を食べやすい環境づくり

ア ベジタベライフ協力店の新規開拓と質の向上

新規開拓に力を入れるとともに、既登録店舗の掲示物等のメンテナンスを行っていく。

【目標：新規登録 100 店舗、メンテナンス 190 店舗】

イ 「気づき」から健康行動につなげるための動機づけを強化

食育月間や糖尿病月間、健康経営を通じて、積極的に働き世代が集まる場に出向き、ベジチェック（推定野菜摂取量を測定できる機器）を活用し、糖尿病リスクの啓発を行っていく。

【目標：測定実施 6,400 人】

(2) 子ども・家庭の望ましい生活習慣の定着

ア 子どもを通して家庭全体への啓発

乳幼児健診、保育園、幼稚園、小学校に加え図書館や子ども食堂等、様々な場所で「ひと口目はやさいから」の啓発を行い、子どもだけではなく家庭全体への定着を図る。【目標:280箇所】

イ 教育・保育施設、小中学校と連携した歯科口腔保健の取り組み

(ア) 年長児・小学1年生対象「6歳臼歯健康教室」の実施

健全な6歳臼歯※1の育成を目指し、年長児は「奥歯みがきと歯によいおやつ」、小学1年生は「朝・夜の歯みがきと歯によいおやつ」をテーマに「歯みがきチャレンジカード」に取り組む。

【目標:「6歳臼歯健康教室」実施数255施設(教育・保育施設188園、小学校67校)】 ※1 6歳頃生える永久歯の奥歯

(イ) 歯・歯肉の健康を自分で守る児童・生徒の育成

自ら12歳臼歯※2と歯肉を守るため、正しい知識の啓発と歯みがき体験をセットに、小学5年生および中学1年生を対象に「こきざみの技・体験教室」を実施する。特に、理解度や技術力が高く、着実に成果につながる中学1年生の参加校数増加を目指す。

【目標:中学校15校・1500人】 ※2 12歳頃生える永久歯の奥歯

(3) 働き世代の健康づくり

ア 元気な職場づくり応援事業(健康経営)

(ア) 新規支援事業所の拡大

令和7年度中に新たに5事業所の選定をめざす。

(イ) 成功事例の周知

健康経営の取り組みのうち、多くの事業所でも取り組めるような良い事例を区ホームページや健康経営講演会等で紹介し、健康経営に主体的に取り組む区内中小事業所の拡大に努めていくとともに、効果的な周知方法についても工夫していく。

イ 日常生活活動を増やす「ちょこ活」の推進

日常生活活動をあと5分増やす「ちょこ活」を、スポーツ振興課や人事課等関係部署との連携や、糖尿病対策アクションプランの各部会を活用して横連携を強化し、個人が実践しやすい環境づくりを進める。

ウ 健康応援部会の充実

区健康づくりにご協力いただいている企業等に参加を呼び掛け、区民にとって分かりやすいキャンペーン等を今後も共に推し進めていくための交わり場となるよう充実させていく。

令和7年5月22日開催の当部会には、庁内関連部署に加え、区医師会、北足立市場、民間企業・事業所7社が参加した。

(4) 糖尿病の重症化予防（医師会・歯科医師会・薬剤師会との連携事業）

ア 医科歯科連携講演会の開催

令和7年8月6日開催予定（足立区医師会主催、足立区歯科医師会・足立区薬剤師会・区共催）。三師会連携の重要性に対する共通認識を更に深め、糖尿病の重症化予防を目指す。

イ 再構築した医科歯科連携チケット事業の再周知

アの医科歯科連携講演会と合わせて区の事業説明会を開催し、事業の浸透と協力医療機関の増加を図る。

厚生委員会報告資料

令和7年7月4日

件名	令和6年度「動物愛護相談支援窓口」の実績及び「足立区地域猫活動協力員」の登録・更新状況等並びに令和7年度の主な取り組み方針について																																																																															
所管部課名	衛生部足立保健所 生活衛生課																																																																															
内容	<p>令和6年度の「動物愛護相談支援窓口」の実績及び「地域猫活動協力員」の登録・更新状況等について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 苦情相談受付・実態調査等の件数</p> <table border="1" data-bbox="405 698 1441 1070"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th colspan="2">総数</th> <th colspan="2">犬</th> <th colspan="2">猫</th> <th colspan="2">その他の動物</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">対応</th> <th colspan="2">苦情受付件数</th> <th colspan="2">苦情受付件数</th> <th colspan="2">苦情受付件数</th> <th colspan="2">苦情受付件数</th> </tr> <tr> <th>実態調査</th> <th></th> <th>実態調査</th> <th></th> <th>実態調査</th> <th></th> <th>実態調査</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>1,125</td> <td>343</td> <td>317</td> <td>127</td> <td>431</td> <td>153</td> <td>377</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>1,368</td> <td>277</td> <td>334</td> <td>110</td> <td>577</td> <td>115</td> <td>457</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>6年度</td> <td>1,287</td> <td>280</td> <td>398</td> <td>118</td> <td>515</td> <td>102</td> <td>374</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 「実態調査」は、苦情対象者宅への訪問や苦情対象現場の状況確認を要する場合に行っている。</p> <p>2 「動物愛護相談支援窓口」の実績</p> <p>飼い主のいる犬・猫及び飼い主のいない猫の一時保護、譲渡先探しなどの支援をNPO法人に業務委託して行っている。</p> <p>(1) 動物を遺棄・虐待させないための取組み</p> <table border="1" data-bbox="435 1433 1377 1796"> <thead> <tr> <th></th> <th>取組内容</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア</td> <td>飼育相談</td> <td>3件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>譲渡相談</td> <td>20件</td> <td>16件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ウ</td> <td>飼い猫の一時保護</td> <td>20匹</td> <td>14匹</td> </tr> <tr> <td>うち譲渡実現数</td> <td>10匹</td> <td>9匹</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">エ</td> <td>飼い主のいない猫の一時保護</td> <td>158匹</td> <td>154匹</td> </tr> <tr> <td>うち譲渡実現数</td> <td>89匹</td> <td>110匹</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 飼い主のいない猫を出産させないための取組み</p> <p>不妊去勢手術実施件数 462匹 (令和5年度：639匹) (内訳) ア 地域猫活動協力員を対象に無料で実施 … 222匹 (令和5年度：235匹)</p>	種類	総数		犬		猫		その他の動物		対応	苦情受付件数		苦情受付件数		苦情受付件数		苦情受付件数		実態調査		実態調査		実態調査		実態調査		令和4年度	1,125	343	317	127	431	153	377	63	5年度	1,368	277	334	110	577	115	457	52	6年度	1,287	280	398	118	515	102	374	60		取組内容	令和5年度	令和6年度	ア	飼育相談	3件	1件	イ	譲渡相談	20件	16件	ウ	飼い猫の一時保護	20匹	14匹	うち譲渡実現数	10匹	9匹	エ	飼い主のいない猫の一時保護	158匹	154匹	うち譲渡実現数	89匹	110匹
種類	総数		犬		猫		その他の動物																																																																									
対応	苦情受付件数		苦情受付件数		苦情受付件数		苦情受付件数																																																																									
	実態調査		実態調査		実態調査		実態調査																																																																									
令和4年度	1,125	343	317	127	431	153	377	63																																																																								
5年度	1,368	277	334	110	577	115	457	52																																																																								
6年度	1,287	280	398	118	515	102	374	60																																																																								
	取組内容	令和5年度	令和6年度																																																																													
ア	飼育相談	3件	1件																																																																													
イ	譲渡相談	20件	16件																																																																													
ウ	飼い猫の一時保護	20匹	14匹																																																																													
	うち譲渡実現数	10匹	9匹																																																																													
エ	飼い主のいない猫の一時保護	158匹	154匹																																																																													
	うち譲渡実現数	89匹	110匹																																																																													

イ 地域猫活動ボランティアグループを対象に手術費範囲内の助成により実施 … 2 匹 (令和5年度: 1 匹)

	飼い主のいない猫
オス・去勢手術助成額	5,000 円
メス・不妊手術助成額	10,000 円

ウ 一般区民を対象に一部費用助成により実施 … 2 3 8 匹
(令和5年度: 4 0 3 匹)

※ 飼い猫の一部費用助成による手術数 … 7 6 4 匹
(令和5年度: 8 3 6 匹)

	飼い主のいない猫	飼い猫
オス・去勢手術助成額	4,000 円	2,000 円
メス・不妊手術助成額	6,000 円	4,000 円

3 「足立区地域猫活動協力員」の登録・更新状況

(1) 地域猫活動協力員登録者数 (4月1日現在) … 1 2 3 名
(令和5年度: 8 6 名)

(2) 地域猫活動協力員登録更新時研修

ア 実施時期 令和7年3月

イ 書面研修内容及び登録更新申請

(ア) 協力員「活動の手引き」や「猫の適正飼育ガイドライン」ほか、東京都や環境省作成冊子等を研修資料として郵送。

(イ) 上記資料による研修を実施し、「更新申請書」や「年間報告書」等を区に提出。

4 令和7年度の主な取り組み方針

(1) 飼い主のいない猫対策【不妊去勢手術の徹底】

ア 地域猫活動協力員の増員を図り、協力員の申請による「動物愛護相談支援窓口運營業務委託」での不妊去勢手術件数の増加を目指す。

イ 令和7年度に期間限定で上限金額を引き上げた「区民向けの不妊去勢手術費助成金」の取り組みで不妊去勢手術を進めていく。

飼い主のいない猫	令和6年度	令和7年度
オス・去勢手術助成額	4,000 円	上限 20,000 円
メス・不妊手術助成額	6,000 円	上限 30,000 円

(2) あだち広報特集号 (予定) やホームページなど各種広報媒体を活用するほか、現在検討中の「地域猫活動イベント」を通じて、ペットの適正飼育や飼い主のいない猫対策、鳥獣相談等の動物全般に関する普及・啓発を推進し、人と動物の共生や地域環境の向上を図っていく。